

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 100mg/g 散

溶出試験 本品約 0.3 g を精密に量り，試験液に水 900 mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 15 分後，溶出液 20 mL 以上をとり，孔径 0.5 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10 mL を除き，次のろ液 5 mL を正確に量り，水を加えて正確に 15 mL とし，試料溶液とする．別にカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品(別途カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム(日局)と同様の方法で水分を測定しておく)約 0.028 g を精密に量り，水に溶かし，正確に 50 mL とする．この液 2 mL を正確に量り，水を加えて正確に 100 mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 363 nm における吸光度 AT 及び AS を測定する．

本品の 15 分間の溶出率が 85 % 以上のときは適合とする．

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_s}{W_T} \times \frac{A_T}{A_s} \times \frac{1}{C} \times 108 \times 1.168$$

W_s : 脱水物に換算したカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品の量 (mg)

W_T : カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム散の秤取量 (g)

C : 1 g 中のカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量 (mg)

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品 カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム(日局)．ただし，定量するとき，換算した脱水物に対し，カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}$) 99.0 % 以上を含むもの．

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 100mg/g 細粒

溶出試験 本品約 0.3g を精密に量り，試験液に水 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 15 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.5 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 5mL を正確に量り，水 10mL を正確に加えてよく振り混ぜ，試料溶液とする．別にカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品（別途水分を測定しておく）約 0.028g を精密に量り，水に溶かし，正確に 50mL とする．この液 2mL を正確に量り，水を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 363nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする．

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_s}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 108 \times 1.1677$$

W_s : 脱水物に換算したカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品の量 (mg)

W_T : カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム細粒の秤取量 (g)

C : 1g 中のカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量 (mg)

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品 カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム (日局). ただし，定量するとき，換算した脱水物に対し，カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}$: 322.27) 99.0% 以上を含むもの．

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 10mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に水 900 mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後，溶出液 20 mL 以上をとり，孔径 0.5 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き，次のろ液を試料溶液とする。別にカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品（別途カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム（日局）と同様の方法で水分を測定しておく）約 0.028 g を精密に量り，水に溶かし，正確に 50 mL とする。この液 2 mL を正確に量り，水を加えて正確に 100 mL とし，標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 363 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 85 % 以上のときは適合とする。

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 36 \times 1.168$$

W_S : 脱水物に換算したカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量 (mg)

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品 カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム（日局）。ただし，定量するとき，換算した脱水物に対し，カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}$) 99.0 % 以上を含むもの。

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 30mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 0.5 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 5 mL を正確に量り、水を加えて正確に 15 mL とし、試料溶液とする。別にカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品（別途カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム（日局）と同様の方法で水分を測定しておく）約 0.028 g を精密に量り、水に溶かし、正確に 50 mL とする。この液 2 mL を正確に量り、水を加えて正確に 100 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 363 nm における吸光度 AT 及び AS を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 80 %以上のときは適合とする。

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= WS \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 108 \times 1.168$$

WS : 脱水物に換算したカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のカルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}\cdot 3\text{H}_2\text{O}$) の表示量 (mg)

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム標準品 カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム（日局）。ただし、定量するとき、換算した脱水物に対し、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム ($\text{C}_{10}\text{H}_{11}\text{N}_4\text{NaO}_5\text{S}$) 99.0 % 以上を含むもの。